

デジタル化推進グループ

ヒト・モノ・環境などのあらゆる情報がデジタル化され、ネットワークを通じて自由にやりとり可能となった今、デジタル技術の活用により様々なことが実現できるようになりました。

このような中、空飛ぶIoT (Internet of Things) と称されるドローンは、カメラだけではなく、レーザースキャナやセンサー等のセンシング機器の搭載が可能であるため、空撮画像をはじめとする多くの取得データを効果的に利活用することで、電力設備の効率的な維持管理や非常災害時における設備被害の迅速な状況把握などの実現に向けて、大きな期待が寄せられています。

また、スマートフォンやタブレットなどの急速な普及を背景に、省電力で信頼性の高い通信を実現する技術や、安価で小型かつ高性能なセンサーの開発が進み、大量データ処理技術の進展と相まって、様々なデータの組み合わせによる新たな価値の創出が可能となりました。

さらに、ChatGPT に代表される生成 AI の急速な普及と、社内 DX 推進活動が相まって、社内業務への AI 適用による業務効率化のニーズが増加しつつあるため、「画像解析×AI」や「データ分析×AI」などの組合せにより新たな技術領域へのチャレンジが可能となりました。

このような背景を踏まえて、デジタル化推進グループでは、通信技術をはじめとしてIoT 技術、ドローン技術、3D 技術、画像解析技術、自動認識技術などの先端技術を活用し、自社の業務効率化・高度化はもとより、お客さまや地域社会のニーズに応える新たなビジネスモデルの創出、経営課題や地域社会課題への対応に取り組んでいます。

グループの役割

デジタル技術を使った

- ・業務高度化の推進
- ・お客さまへの新たな価値の提供や、新規ビジネスモデルの創出
- ・経営課題、地域社会課題への対応

研究テーマ

- ・着雪気象センサー装置の開発
- ・ドローン空撮画像、3D画像およびRFIDの活用に関する研究 など

